


年頭のごあいさつ



東京都民の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

平成23年の新年のごあいさつでもご報告申し上げましたが、東京都教育委員会は、いわゆる小1問題、中1ギャップと言われる問題が、その後の子供たちの学習の進展に大きな妨げとなっているとの認識に立ち、平成22年度に、これに対処する学級規模縮小、T・T(チーム・ティーチング)及び少人数指導を実施しました。奇しくも、国は翌平成23年度に、小学校第1学年について35人以下に学級規模を縮小するため、教員の定数改善に踏み切りましたが、東京都の施策が国の背中を押したという見方をされる関係者も少なくないようです。国の施策では今年度はまだ中1には手当がありませんが、東京都は既に中1にも手当がなされており、東京都の教育施策における先進性がここにも現れていると申し上げて良いかと思えます。

東京都教育委員会では、新しい施策を実施した場合には、その施策の効果があつたか否かについての評価を実施することとしています。平成23年度に学

東京都教育委員会 委員長 木村 孟

級規模縮小、T・T及び少人数指導のために教員加配を行った中学校についても、区市町村立の中学校の校長先生方に質問紙調査を行いました。対象としたのは、加配校94校、未加配校528校の計622校です。調査結果の詳細は、東京都教育委員会のホームページに掲載されておりますので、ご覧頂きたいと存じます。

この調査結果によりますと、生徒の学校生活の改善に効果があつたと答えられた校長先生の割合は、調査項目全てについて、加配校の方が未加配校より、かなり高くなっています。中でも、教員と生徒との関係が良くなったか、担任の指示に従って行動できるようになったか、という項目に関して、肯定的な回答を寄せられた校長先生は、加配校では70%近くになっています。

このように、中1ギャップ等の諸課題に対し、学校の実情に合わせて学級規模縮小、T・T及び少人数指導を行っていくことは、優れた教育効果をもたらすものと考えられます。

財政多難の折ではありますが、東京都教育委員会は、さらなる教育環境の整備に向け努力を積み重ねていく所存であります。都民の皆様の特段のご理解とご支援をお願いいたします。

とつきよの教育

第99号
小学校版
平成25年1月

東京都教育委員会 ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>
東京都教育委員会(教育庁)では、都民のみならず市民からの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。


東京都の小学校で行っている研究活動をご紹介します!

東京都教育委員会では、特色ある教育活動の実施や、新しい教育課題への対応を図るため、様々な推進校・研究校・研究協力校等を指定して研究活動を行っています。その中から、一部をご紹介します。

教育委員会の動き ~平成24年7月から11月までの活動について~

- ① 教育委員会の開催状況**
 - 平成24年7月から11月までに、9回の定例会を開催し、31件の議案と27件の報告について、審議を行いました。その中から主なものを紹介します。
 - <議案>**
 - 平成25年度使用都立高等学校用(都立中等教育学校の後期課程及び都立特別支援学校の高等部を含む。)教科書の採択について
 - いじめ問題に関する緊急アピールについて
 - 平成25年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等について
 - <報告>**
 - 「平成23年度インターネット等の適正な利用に関する指導事例集・活用の手引」、「情報モラル啓発用DVD」及び「児童生徒向けリーフレット」について
 - 東京都独自の「道徳教育教材集」の作成・配布について
 - 平成25年度東京都立高等学校入学選抜実施要綱・同細目について
 - いじめの実態把握のための緊急調査の結果について
 - アスリートによる「一日校長先生」「部活動指導」事業の実施について
 - 小学校教諭採用予定者への実践的指導力養成講座について
 - いじめの総合対策の充実について
 - 平成24年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査(東京都統一体力テスト)結果について
 - 平成24年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(東京都独自の調査)結果について
- ② その他の活動**
 - 高校生夕張キャンプを視察し、特別講演を行いました。
 - I期・農産物の流通等体験視察(瀬古委員)
 - II期・高校男子サッカー視察・特別講演(川淵委員)
 - III期・高校女子サッカー及び高校相撲夕張場所視察・特別講演(内館委員)
 - 「東京都教育の日」推進事業の視察を行いました。
 - 杉並区立天沼小学校(木村委員長)
 - 大田区立新宿小学校(内館委員)
 - 多摩市立南鶴牧小学校(川淵委員)
 - 調布市立第二小学校(竹花委員)
 - 11月3日新宿区立四谷第六小学校において開催の「東京都教育の日」記念行事で川淵委員が作家・阿川佐和子氏との基調対談「芝生のチカラ」を行いました。
 - 都内公立学校の周年行事に出席しました。
 - 町田市立町田第三小学校(瀬古委員)
 - 都立大泉高等学校(竹花委員)
 - 都立府中工業高等学校(内館委員)
 - 都立鷲宮高等学校(木村委員長)

教育委員会は、原則として毎月第2・第4木曜日に開催しています。開催状況・会議録は東京都教育委員会ホームページに掲載しています。



7月24日 高校生夕張キャンプ
10月27日 都立大泉高等学校

話してみよう あなたの心配

東京都教育相談センターの御案内

東京都教育相談センターは平成24年度末に移転する予定です。
移転先 東京都新宿区北新宿四丁目6番1号(東京都子供家庭総合センター4階)
※詳細は東京都教育相談センターのホームページでお知らせします。

子育ての悩みや不安、いじめ、不登校など

電話 03(5800)8008 ※平成25年2月11日から 03(3360)8008
平日:午前9時から午後9時まで
土日祝日:午前9時から午後5時まで(閉庁日、年末年始をのぞく。)
※上記以外留守番電話及び電子メールによる対応をしています。
メールはホームページからご利用ください。

ホームページ <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>

いじめ相談ホットライン

電話 03(5800)8288 ※平成25年2月11日から 03(5331)8288 (24時間受付)

外国人児童・生徒相談

電話 03(5800)8008 ※平成25年2月11日から 03(3360)8008
☆毎週金曜日:午後1時から午後5時まで(受付は午後4時まで)
☆中国語、英語、韓国・朝鮮語での対応が可能です。
☆来所相談は電話でお申込みください。

東京都教育相談センター
〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目3番3号 電話:03(5800)8545(代表)
※平成25年2月11日から 電話:03(3360)4172(代表)

暮らしを見つめる! 統計調査!

国民の暮らしを見つめ、よりよい社会を実現するために、総務省統計局では、さまざまな統計調査を定期的に行っています。

労働力調査 毎月実施
就業状況や完全失業率など「雇用」を明らかにする調査で景気判断や雇用対策の立案に役立っています。

家計調査 毎月実施
世帯の収入や支出など「家計収支」を明らかにする調査で景気動向の分析などに役立っています。

小売物価統計調査 毎月実施
小売物価など「物価」を明らかにする調査で消費者物価指数(CPI)、その他物価に関する基礎資料の作成に役立っています。

個人企業経済調査 四半期ごとに実施
個人経営の事業所の「景気」を明らかにする調査でGDP(国内総生産)の推計資料などに役立っています。

調査結果はさまざまな場面で活用され、わたしたちの暮らしを支えています。

統計調査員がご家庭・会社等にお伺いします。ご協力をお願いします。
総務省統計局・東京都 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp> 統計調査 検索

違法ドラッグ ~合法なんてない!~

★「合法」という言葉に惑わされてはいけません!
★違法ドラッグは、あなたの人生を壊す危険な薬物です!

健康被害の例
意識消失 呼吸停止 急性錯乱
幻覚・幻聴 精神異常等

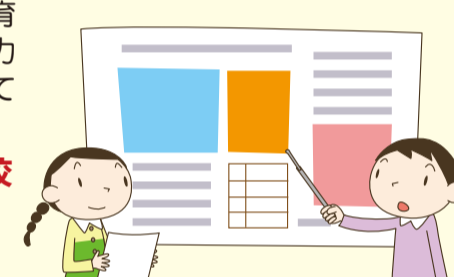
違法ドラッグについての相談は 東京都福祉保健局 健康安全部薬務課 電話 03(5320)4515

「言葉の力」を伸ばします! ~言語能力向上推進校~

活字に親しむ学校づくりを通して子供たちの思考力・判断力・表現力等を伸ばして生きる力を育み、子供たちの言葉の力を引き出す活動を行っています。

平成24年度...130校

友達との討論
意見の発表



将来にわたって安全・安心な生活が送れるように... ~安全教育推進校~

子供たちに、危険を予測して自分の身を守る力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育てる安全教育の普及・啓発を図っています。

平成24年度...12校

生活安全 交通安全 災害安全



スポーツに親しむ児童・生徒を育てます ~スポーツ教育推進校~

オリンピック・パラリンピックをはじめとするスポーツ大会の意義や役割を理解して、積極的にスポーツに親しむ教育活動や、アスリートを学校に派遣し、生き方や考え方を学ぶ「一日校長先生」事業等を行っています。

平成24年度...300校

運動・スポーツの実践



理数教育の充実のために... ~理数教育振興研究協力校~

東京都における理数教育の振興に向けて、効果的な指導方法や教材の開発を行っています。

また、学校と地域や企業・大学等との連携などにより、理科授業での観察や実験の充実を図っています。

平成24年度...15校

観察・実験



相互に支え合う社会づくりを目指して ~人権尊重教育推進校~

人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育を一層充実させるために設置しています。

平成24年度...50校

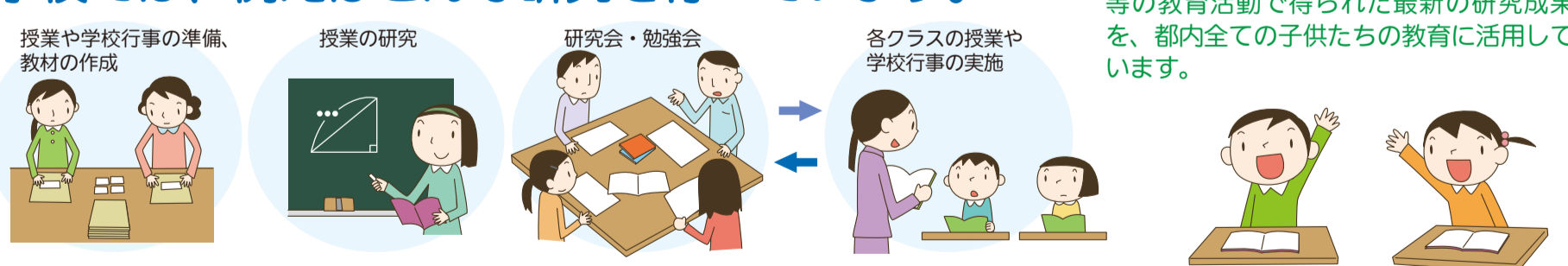
自分を大切に
他人も大切に



学校では、例えばこんな研究を行っています。

授業や学校行事の準備、教材の作成
授業の研究
研究会・勉強会
各クラスの授業や学校行事の実施

研究成果を踏まえて、教育活動の質の向上を図っています。



とつきよの教育 第99号 平成25年1月発行

編集・発行 東京都教育庁総務部教育情報課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)6733
ファクシミリ 03(5388)1726

デザイン・印刷 株式会社ドゥ・アーバン

2020年オリンピック・パラリンピックを日本で!

東京は、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市に選定されました。開催都市は平成25年9月に決定されます。皆様のご支援よろしくお願い致します。

この印刷物には、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。音声コードは、活字文書読上げ装置で読み上げることができます。

こちらの音声コードで、このパンフレットの内容を音声で聞くことができます。

～ いじめ問題に関する緊急アピール ～

いじめによって子供たちの心や体が傷ついたり、前途ある尊い命が失われたりすることは決してあってはならないことです。東京都教育委員会は、東京の子供たちを守るために、より一層学校と家庭、地域社会が連携を強めることが重要と考え、平成24年10月4日にこの緊急アピールを発表しました。

いじめとどう向き合いますか —東京都教育委員会から子供たちへのメッセージ—

私たち東京都教育委員会は、学校などと同じように、みなさんが元気に育ってくれるように、見守り、心配りをする責任を負っています。6人の教育委員が、多くの職員と一緒にそのための仕事をしています。

いじめ問題も私たちにとって、心配なできごとです。滋賀県でのいじめが原因とみられる当時中学2年生の自殺に衝撃を受け、私たちは、都内でのいじめは大丈夫なのかと緊急に調査しました。その結果、11,507件にものぼるいじめや、いじめかもしれないものが報告されました。

これまで、このようないじめを一刻も早くなくし、取り返しのつかないことが起こらないようにと、学校をはじめ多くの人が、できるだけ努力をしてきたのです。私たちも、東京都いじめ相談ホットライン（24時間対応）を活用し、多くの子供たちや保護者のみなさんの相談にのり、問題の解決を助け、安心してもらえるようにしてきました。

ところが、9月下旬に品川区の中学1年生が自殺するという、大変悲しいことが起こってしまいました。現在、いじめがあったのではないかと関係者が調査しています。

このような中で、私たちは、みなさんに私たちの思いを伝えたい、それを基に、みなさんにもう一度考えてもらいたいと思いました。

みなさんは学校でさまざまなことを学び、社会人となるための準備をしています。学校は多くの子供たちが通うひとつの社会です。そこでの生活は、楽しく過ごすことばかりではなく、友達と意見がぶつかったり、誤解されたり、力がなかなか実らなかったり、いろいろとおもしろくないことも起こります。

私たち大人の社会も同じようなもので、大人たち自身もがきながら生きています。そんな経験を重ねる中で、人間にとって大切なものが何かを考え、社会で生きる知恵を身に付けていくのです。すべての大人がそうだと思います。ですから、大人たちは、いじめというものがどれだけ他人を傷つけ、結局は自分を傷つけることになるかと分かっています。

そこで、私たちはみなさんに、別紙のような問いかけをしたいと思います。また、考えてほしいことも書き添えました。

私たちが、みなさんに願っていることは、人を思いやり、どのような状況も乗り越えられるたくましい力を身に付けてもらうことです。確かに、苦しい状況におかれることもあります。そのときは、大人を信頼して、思い切って話してみませんか。ときには納得できないことを言う人もいるかもしれませんが、大半の大人はみなさんの味方です。

面と向かって話すことがどうしてもできないのであれば、次の番号に電話をかけてください。親身になって話を聞いてくれます。

東京都いじめ相談ホットライン（24時間対応） 電話 03-5800-8288
平成24年10月4日 東京都教育委員会

東京都いじめ相談ホットラインは、平成25年2月11日以降、次の電話番号になります。 電話 03-5331-8288

子供たちを守る責任を果たしたい —東京都教育委員会からのお願い—

最近、全国的にいじめによる取り返しのつかない事件が多発しており、文部科学省をはじめ多くの教育関係者、地方自治体等が対策を講じています。いじめ問題はこれまでも繰り返された大きな課題となっており、その都度対応が強化されてきたところではありますが、東京都教育委員会でも改めていじめの実態調査を行うとともに、区市町村教育委員会とも連携を強めて対応しているところです。

いじめに関し、教育に関わる者の責任は重大です。いじめが学校で行われることが多いからです。当然ながら、学校には子供たちが安心して学べる環境を用意する責任があります。それでもいじめが生じた場合には、それを早期に発見し、適切に対応する必要があります。また、教育行政に関わる者にはそれをサポートする責任があります。教育に関わる全ての者は、協力し合い、その総合力を高める努力が一層必要です。

一方、子供たちは学校だけではなく、家庭でも社会でも育てられています。つまり、保護者はもちろん、子供たちを取り巻く多くの大人の力がなければ、いじめ問題に十分な対応ができないことは明らかなのです。

その際に私たちが留意しなければならぬのは、これまでの経緯から見て、いじめを一朝一夕になくすることは難しいという現実です。それを認識することによって、より大きな努力や早期発見、適切な対応への思いも強くなっていくものと考えます。しかし、いじめの原因は一律では

なく、大人にとって思いもかけないこともあり、被害者の受ける傷の大きさも大人には想像できないほど大きい場合があります。

このように考えますと、いじめ問題は解決が容易ではありませんが、私たちには、それでも子供たちを守るために、これまで以上の取組を進める責任があります。私たち東京都教育委員会はこのように考え、これまで区市町村教育委員会や学校との連携を強化し、対応してきましたが、今回、新たに、私たちの思いを子供たちに直接伝えることにいたしました。子供たちにもう一度考えてもらいたいという趣旨で、子供向けメッセージ「いじめとどう向き合いますか」を作成し、学校を通じて、都内公立学校の全ての児童・生徒に渡すこととしております。

こうしたいじめ対策を進めることが、子供たちを警戒させたり、萎縮させたり、大人の責任逃れのような印象をもたられるようなことがあってはなりません。私たちは、子供たちはいじめ問題に向き合う力を持っていると思います。それを信じ、大人が防いでやるというだけでなく、子供たちにも乗り越えて生きる力を付けてもらいたいのです。そのため

の取組を進める必要があります。このような考えから、保護者の皆さんや学校の先生、更に地域社会の皆さんに私たちは別紙のようなお願いをいたします。

平成24年10月4日 東京都教育委員会

いじめについて考え、話し合い、行動しよう

● あなた自身を見つめ直してください。

今、つらいことや苦しいことはありませんか。
悩みはありませんか。

つらいことや苦しいことがあったなら、自分一人だけで悩むことはありません。我慢したり、思いつめたりしないでください。家族や周りの大人に相談し、助けを求めてください。相談することや助けを求めることは、人間が生きていく上で当たり前のことです。大人だってそうやって生きているのです。あなたの思いは、必ず私たち大人が受け止めます。あなたの人生は、これから楽しく、そして輝く日々が待っているのです。今、つらいこと、悲しいことがあっても、その未来を、その命を、自分で絶つことは決してしないでください。

あなたは自分のしていることを
軽く考えてはいませんか。

あなた自身は意識してなくても相手の受け止め方はさまざまです。あなたの何気ない言葉や行動で傷ついている人がいるかもしれません。もし、あなたが、ちょっとしたからかいや冗談のつもりで、仲間につらい思いをさせているなら、今、すぐにやめてください。あなたの言葉や行動によって、仲間の命が失われるかもしれないのです。もしそうなったときのたくさんの苦しみを、よく考えてみてください。

あなたは、いじめを自分には
関係ないことだと思っていませんか。

何もしないことは、仲間がいじめられることを認めていることと同じです。あなたが助けてくれることを待っている仲間がいるかもしれません。もし、あなたの仲間がいじめられていたら、周りの大人にそっと相談してください。大人は、必ず味方になって、解決の方法を探します。もちろん、相談したあなたや、いじめられているあなたの仲間を守ります。あなたの勇気と行動によって、一人の仲間を助けることができます。見ているだけの人間にはならず、勇気をふりしほって行動してください。

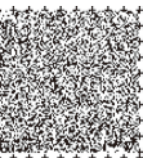
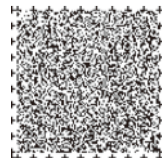
あなたは、いじめられる人にも
問題があると思っていませんか。

そのように考えることは、一人ひとりの違いや相手の人格を認めないことと同じです。いじめていることや、いじめをただ見ていることの言い訳にしているのかもしれない。

● いじめられている人の気持ちを考えてください。

いじめられている人の中には、なぜいじめられているかが分からずに苦しんでいる人がいます。また、自分ではどうすることもできないことでいじめられている人もいます。

いじめについて真剣に考えてください。
何をすべきか友達同士、本気で話し合ってください。
そして、いじめをなくすための一歩を踏み出してください。



いじめを決して許さず、社会全体で子供たちを守るために

🏠 保護者の皆さんへ

子供向けメッセージ「いじめとどう向き合いますか」を素材にして、子供と日頃からよく話し、互いに心を通じ合うようにしてください。そのために、子供がいつでも相談できるような温かい雰囲気を家庭の中に築いてください。

話をする子供の様子をよく見たり、子供の思いや考えを感じ取ったりすることなどで、子供の心の変化に気付いてください。そして、保護者にとって、子供がかけがえのない存在であるということを示し、「困ったこと、苦しいことがあったら、小さいことでも話してほしい。」「わたしが必ずあなたを守る。」といった言葉にして、繰り返し伝えてください。保護者に愛されているという実感は、子供に苦難を乗り越える力や守られているという安心感を与えます。

もしも、子供の話から、自分の子供に限らずいじめの気配を感じた場合は、まだ確証がつかぬ段階であっても、学校にためらわずに御相談ください。

また、東京都いじめ相談ホットラインも御活用ください。

👩‍🏫 全ての先生へ

子供向けメッセージ「いじめとどう向き合いますか」を子供たちと一緒に読んでください。そして、先生自身の考えを子供たちに話してください。子供たちにも意見を求め、議論してみてください。子供たちは、自分なりの考えをもって意見を表明する力をもっているものです。そういう議論を通じて、いじめ問題を深く理解できるように努めてほしいと切に願っています。

「いつでも話を聞いてほしい。」「小さなことにも気付いてほしい。」子供たちが抱く先生への望みです。子供が話しに来たら、また、話したそうにしていたら、忙しくて子供と向き合い、話を聞いてください。子供たちの思いや考えをしっかりとつかみ、その思いに添えてください。もしもいじめられている子供がいたら、全力で守り必ず助けるということを、言葉で伝える行動で示してください。先生のその姿勢を、広く他の子供たちにも分かるようにしてください。真っ先に子供たちが頼るのは、先生なのです。

日常から、子供たちが互いに認め合い、切磋琢磨して成長するために、互いの思いや考えを率直に出し合い、分かり合う経験をさせてください。授業や部活動において、子供たちが心を開いて自らの考えを伝えたり、話し合ったりする場面はあるでしょうか。子供たち一人ひとりが自分の力を発揮できる場面はありますか。

いじめは、いつでもどこでも起こりうるものです。それを今こそ認識する必要があります。いじめの兆候を感じたら、先生が一人で抱え込まず、学校の全ての先生の協力を求め、解決するようにしてください。また、学校が保護者や地域の方々との連携を図り、いじめのない安全で安心な学校づくりを推進してください。

🏡 全ての地域の方々へ

通学途上や塾の行き帰りなど、学校や家庭以外での生活の中で、子供たちがいじめられているケースも少なからずあります。学校や家庭では発見しにくいいじめの実態を把握できれば、対策を早期に講じることができます。

例えば、子供たちの安全を見守る大人がいじめを発見することがあると思います。もちろん、その場で良識ある大人としての注意が望まれますが、場合によっては学校などへ御連絡いただければと思います。また、重大ないじめ事件については警察と協力して対応することとしておりますが、多くの行政機関やボランティア団体の方々にも子供たちの見守りをお願いいたします。